

RNN速報

「インド ビハール州北部洪水」被災者緊急支援のお願い

RNN事務局長 黒住 宗道

各位

南アジアにおいてモンスーンによる洪水が発生し、インドでも甚大な被害が発生しています。UN-OCHA(国連人道問題調整事務所)によると、死者943人以上、約3,200万人が被災しています。その中でもインド北部のビハール州は現在最も多く死者が出ており、被災者も1,100万人を超えています。既にインドの軍と州の災害対応チームが救助を開始していますが、多くの人々が避難生活を余儀なくされています。

AMDAは従来よりビハール州南部ブッダガヤにある「AMDAピースクリニック」において妊産婦健診等を実施しており、本部職員2名(看護師1名、調整員1名)が8月27日、28日にそれぞれブッダガヤに到着しました。出発前の8月中旬より水害被害の情報を収集し、現地到着直後協力者との協議を進め、ガヤ大学及び現地協力者との支援活動の実施を8月30日に決定しました。ビハール州北部のサマスティプル(Samastipur)市 バルハ(Balha)において、食料や生活物資等の配布活動を9月1日に行いました。

尚、ビハール州危機管理部の発表(9/3)によると、ビハール州内での死亡者514名、今回のモンスーン期間中の避難者が累計約854,000人出ています。

【本部からの派遣】

岩本智子(いわもと ともこ):看護師(米国資格)/フィリピン担当部長/倉敷市在住/33歳

ニッティヤン・ヴィーラヴァーグ:調整員/オーストラリア国籍スリランカ出身/AMDAインターナショナル事務局長/岡山市在住/49歳

この度も、下記の基準に則り、各位に募金をお願い申し上げる次第です。尚、本募金の当面の〆切を本日から1ヵ月後の2017年10月4日といたします。宜しく願いいたします。

RNN定例会議(1998/7/24 開催)により、本ネットワークによる緊急救援活動実施について

- ② RNNのメンバーが被災した場合
- ② 「トピアの会」のネットワーク (INNED、姉妹校等)が被災した場合
- ③ AMDAが現地入りした場合

が即対応の基準として承認されています。

募金は下記のRNN郵便振替口座に送金をお願いします。集められた募金はAMDAへの委託とともにRNNとして責任をもって活用させていただきます。これまで同様、募金の領収書は各委員(教団・教会・寺院)名で出されます。ご協力に際しては、通信欄に「インド ビハール洪水」とご明記下さい。

以上

RNN郵便振替口座

加入者名: RNN

口座番号: 01310-9-63933